

平成 23 年 5 月 24 日
5 月の内外鉄スクラップ・マーケット
海外 <p>①今年3月世界粗鋼生産は1億 2934.3 万トン。前月比 9.5%増、前年同月比 7.0%増。1～3 月累計は 3 億 7152.2 万トン。累計トップは中国 1 億 6991.0 万トン、前年同期比 8.7%増。同国の世界シェアは 45.7%。累計生産 2 位は日本 2768.3 万トン、4.4%増。3 位米国 2098.1 万トン、7.1%増。</p> <p>②日本で 3 月 11 日、大地震と大津波と原発事故が発生。東北各地の自動車、電気などの部品産業が操業休止や減産に追い込まれたため、日本だけでなく関連産業は世界的な影響を受けている。</p> <p>③アラブ世界では、1 月のチュニジア（ジャスミン革命）を発端にリビア、シリア、イエメンなどに民衆蜂起が拡大。世界最大の鉄スクラップ輸入国（10 年 1919 万トン輸入）であるトルコの粗鋼生産、鉄スクラップ輸入が 2 月以来 3 ヶ月以上も停滞している。</p> <p>④トルコ向け HMS（CFR）は 1 月初 535 ドル→4 月末 440 ドル台での模様眺め気配に終始。米国、東海岸のフィラデルフィア価格は 400 ドルを割った。ドル安のため見かけの鉄スクラップ相場は崩れてはいないが、米国など関係者は慎重な見方が多い。</p>
国内 <p>①震災、発事故から関東湾岸の浜値は一時、H2・FAS32,000 円台まで陥没したが放射能対応が懸念された韓国筋が日本玉をつつがなく引き取ったことから、逆に関東浜値に割安感が台頭。GW を前にした国内電炉筋の積極手当もあり、4 月上旬にかけて一気に上げ戻した。</p> <p>②東京製鉄・岡山に米国輸入玉（3.2 万トン）が 4 月中旬、入着した（GW 明け～6 月にかけて、さらに 2 隻が入着予定）。さらに東鉄以外でも最近の海外相場安と「円高」環境から（銑鉄・鉄スクラップとも）輸入を探る動きも伝えられる。</p> <p>③国内は震災を踏まえて東西生産格差の拡大（東は震災減産、西は代替増産）、品種格差の拡大（新断、工場発生は激減、震災物は激増）が続いている。</p> <p>④自動車、家電関係の震災減産の影響が5月以降、高炉筋に出てきた。商社筋によれば、市中スクラップの大幅購入減も伝えられる。</p>
【日刊市況通信 平成 23 年 5 月 10 日掲載】